

みらいを ひらく

INTRODUCTION

国立大学等の各機関は、変化する社会において、より豊かな新しい時代を導くという使命があります。

私たちは機関の一員として、緑あふれる環境を守り、歴史を紡ぎ、知を育み、未来に向けてさらなる可能性を広げていきます。

大学等の個性と特色を活かした多様な仕事は、あなたの意欲を生かし、活躍できる広大なフィールドです。私たちと共に、未来をひらいていきましょう。

1. 世界をひらく、地域をつなぐ	GLOBAL & LOCAL
2. 未来を支える	SUPPORT
3. 未来へ伝える	ADVANCE & LEAD
4. 未来をつくる	PRODUCE
5. 豊かに生きる	WORK-LIFE BALANCE CAREER DESIGN

TOP MESSAGE

国立大学法人等は、国立大学、国立高等専門学校機構、大学共同利用機関、研究所、文化施設などの機関で構成されるグループです。地球規模の様々な課題に対する早急な対応が求められている今日、その要となる人材の育成と新たな知の創造、文化芸術活動の振興などを担う私たち国立大学法人等の役割はますますその重要度を増しています。

国立大学等は、2004年4月の法人化により国の行政機関の一部という位置づけから個々の独立した機関に生まれ変わりました。以来10年以上が経過する中で、各機関は職員の多様な資質、能力、個性を生かしながら、新しく手にした人事や予算に係る「経営の自由」を最大限に活用して、それぞれが特色ある活動を展開してきています。

国際的なダイバーシティ（多様性）の広がりの中で展開される私たちの活動は、人類の知的創造活動の継承と発展を支えるものであり、未来に向かって無限の可能性を秘めています。また、学術・科学技術の成果は地球規模の課題解決に貢献するとともに生活を便利にしたり、文化芸術は心を豊かにし生活に彩りを添えたりします。このような活動を担う国立大学法人等で働くことは、豊かな文化環境の中で仕事と生活を調和させて生きることにもつながっていきます。

私たちは、このような人類の発展に貢献する喜びを味わうことのできる素晴らしい職場で働きたいという志の高い、未来に挑戦する行動力を持った方を求めています。

Contents

INTRODUCTION	2
トップメッセージ	

国立大学法人等とは

国立大学法人等のミッション	4
業務内容	5
私たちの仕事、勤務条件・福利厚生、研修制度	6
ホームページ、ほか	
若手職員アンケート	7

特集 みらいをひらく

私たちのフィールド 01	
世界をひらく、地域をつなぐ GLOBAL & LOCAL	8
私たちのフィールド 02	
未来を支える SUPPORT	10
私たちのフィールド 03	
未来へ伝える ADVANCE & LEAD	14
私たちのフィールド 04	
未来をつくる PRODUCE	16
私たちのワーク・ライフ・バランス	
豊かに生きる WORK-LIFE BALANCE CAREER DESIGN	18 20

関東甲信越地区63機関紹介

各機関配置図	22
国立大学法人	23
独立行政法人国立高等専門学校機構	29
独立行政法人	31
大学共同利用機関法人	35
特別な学校法人	38

巻末企画 プロジェクト紹介

安田講堂改修 ―「施設系」業務の魅力―	39
---------------------	----



関東甲信越地区国立大学法人等
職員採用試験実施委員会委員長

戸渡速志



国立大学法人等とは

国立大学法人等は、教育、研究、地域貢献・国際貢献、文化・芸術振興を通じて、社会の発展に寄与するという公共的な役割を担っています。各機関は個性と特色を発揮し、社会的使命を果たすための取り組みを行っています。

国立大学法人 (26機関) P.23～

各国立大学は独立した法人格をもつ「国立大学法人」となりました。国が財政的に責任を持ちながら、自主・自律という大学の特性を活かした運営ができる新しいスタイルです。学術研究の一層の活性化はもとより、教育機能の強化や学生サービスの改善、あるいは、産学連携や地域貢献活動の充実などについて、それぞれの理念をより良く実現できるよう、自主性・自律性を生かした積極的な運営に取り組んでいます。

独立行政法人 国立高等専門学校機構 (8機関) P.29～

国立高等専門学校（高専）は、社会が必要とする実践的技術者を養成するため、中学校卒業生を受け入れ、5年間の一貫教育を行う高等教育機関として、全国に51校、設置されています。それぞれの高専が、自主・自律的に改革に取り組み、社会経済環境の変化に積極的に対応するとともに、高専機構という1つの法人として、スケールメリットを活かした戦略的・効率的な運営を行っています。

独立行政法人 (17機関) P.31～

国が直接行っていた公共的な事務・事業について、計画的・効率的な運営を行うことで、より良い行政サービスを提供しています。

大学共同利用機関法人 (11機関) P.35～

大学共同利用機関は、法人化を契機に4つの機構に再編されました。各機構が設置した我が国を代表する中核的研究拠点である大学共同利用機関は、全国の大学の関連研究者のニーズに応え、海外の研究者とも連携を図りながら、最先端の研究領域において大型の実験観測施設・装置を開発し、貴重な学術情報・資料を集積し、これらの共同利用により効果的・先端的な共同研究を推進し、大学院教育や高度な研究者の育成に取り組んでいます。

特別な学校法人 (1機関) P.38

法律に基づく特別な学校法人である放送大学学園が設置する大学です。

OUR MISSION 国立大学法人等のミッション

「教育」

高度な専門教育と多彩な教養教育を通じて、次世代を担い、多様な分野で活躍する人材を育成します。

「研究」

基礎的・基盤的研究から最先端研究まで、各機関の強みや特性を生かした研究を行い、人類の発展を支えます。

「地域貢献・国際貢献」

地域の医療機関、自治体、国内外の教育研究機関と連携し、地域振興や国際貢献活動の中核的機能を果たします。

「文化・芸術振興」

貴重な芸術作品や標本資料等の収集、保管、展示、調査研究を行うことにより、先人たちの残した貴重な財産を将来世代に伝えます。

BUSINESS CONTENT

業務内容

各機関では、企画や運営に関わる仕事、学生や研究を支援する仕事、専門知識を活かす仕事など、人事異動により幅広い業務を経験し、多彩なフィールドで活躍することができます。

採用区分		
事務	学生支援	<p>学生の入学から卒業までを学業面、生活面から支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学籍管理、修学指導、成績データの処理 ○奨学金、授業料免除、学生の健康管理、生活指導 ○就職サポート ○大学入試センター試験・個別学力試験の実施
	研究推進	<p>研究の助成、産学官連携の推進を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受託研究・民間との共同研究等の外部資金受入 ○知的財産の管理 ○寄附講座・寄附研究部門の設置・運営 ○地域研究拠点の運営・推進
	国際交流	<p>海外との学術交流・学生交流の推進を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海外の大学・研究機関等との学術交流事業 ○外国人研究員等の受入、教職員の海外派遣 ○留学生の受入、学生の留学 ○地域社会と留学生の交流事業
	総務・人事	<p>経営企画を担い、組織をマネジメントする役割を担います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教授会・評議会・入学式・卒業式等の運営 ○規則の制定・改廃 ○広報、情報公開関係 ○組織改編、大学評価 ○地域貢献活動（公開講座、出前授業等）の企画・実施 ○職員の採用・昇任・異動・給与・研修・福利厚生
図書	財務	<p>組織運営に必要な財務上の計画や管理を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織運営に必要な予算の要求・執行 ○各種物品の契約・購入・管理 ○授業料・検定料・入学金等の収入金の出納
	医療支援	<p>患者さんのための、安全な医療体制確立に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外来患者の受付、入退院の手続、医療情報の管理 ○診察・入院料金の計算・収納 ○地域連携医療、災害医療支援、病院再開発計画の策定 ○病院経営にかかる情報の収集・分析
	図書	<p>教育・研究のための学術情報の提供を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書の貸出・閲覧・複写・検索 ○図書雑誌の購入・受入・分類・目録作成 ○利用者の情報リテラシー教育
電気・機械 土木・建築 化学・物理 電子・情報 資源工学 農学・林学 生物・生命科学	技術(施設系)	<p>キャンパスを創り、維持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャンパスマスタープラン作成 ○新築・耐震改修等の計画・調査・設計・積算・検査 ○工事の発注、工事現場監視 ○省エネルギー対策の策定
	技術(教育・研究支援系)	<p>専門知識を活かし、技術面から教育・研究活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データ解析、計測・観測技術の開発、試料作製 ○学生の実験等の技術支援・助言 ○研究・実験機器等の設計・開発・維持・管理 ○ネットワーク・システムの管理・運営 ○電子計算機利用の知識・技術の普及

※なお、上記の業務内容は、国立大学等の代表的なものであり、機関の設置目的や規模、事業内容等により異なります。

OUR POLICY

私たちの仕事

時間と空間を越えた貢献をします。

教育・研究機関の活動には、今すぐ役立つものはもちろんのこと、将来の社会を考えて行われている基礎的なものも多くあります。また、そこで働くことは教育・研究そのものだけでなく、教育・研究をする人、広く社会の人々の生活・地域・時代すべてに対する貢献です。私たち職員は、変化する社会を広く見つめ、自ら考え、向上心を持って、大学運営のスペシャリストとして、社会のニーズに合った教育、研究、組織運営を行っています。未来へ向け職員として活躍できる場は無限大です。

WORKING CONDITIONS & WELFARE

勤務条件・福利厚生

職員一人ひとりが安心して職務に専念できるよう、各機関は勤務環境の充実を図っています。

勤務条件 ※法人化により、職員の身分は「非公務員型」の法人職員となりました。

勤務時間 原則として1日7時間45分（週38時間45分）となります。

休日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）となります。

休暇 年次有給休暇は、年間20日となります。年の途中で採用された場合は、その期間に応じた日数が付与されます。その他、病気休暇、特別休暇（夏季、結婚、出産、忌引、ボランティア等）があります。

休業等 育児休業、介護休業、育児短時間勤務制度、介護部分休業制度などがあります。

給与・手当 初任給は約17万円～20万円程度となります。学歴や採用前の職歴に応じ、決定します。手当は、通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当（いわゆるボーナス。6月と12月の年2回支給）があります。

福利厚生

文部科学省共済組合 社会保険（年金、健康保険）に相当する保険を完備しています。また、組合員料金で国家公務員共済組合施設・提携施設の利用が可能となります。

健康管理 各機関では、健康診断の実施、人間ドックの助成を行っています。

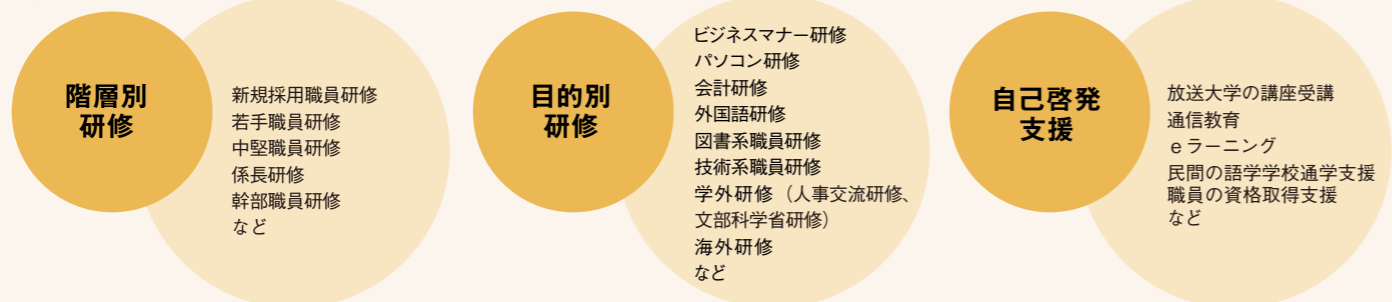
宿舍 単身者用・世帯用の住宅を設置している機関もあります。

レクリエーション 機関内・他機関との交流のため、スポーツ大会やサークル活動などが行われています。

施設の利用 各機関の所有する体育館、グラウンド、テニスコート等の各種施設や附属図書館を利用できます。

TRAINING SYSTEM

研修制度

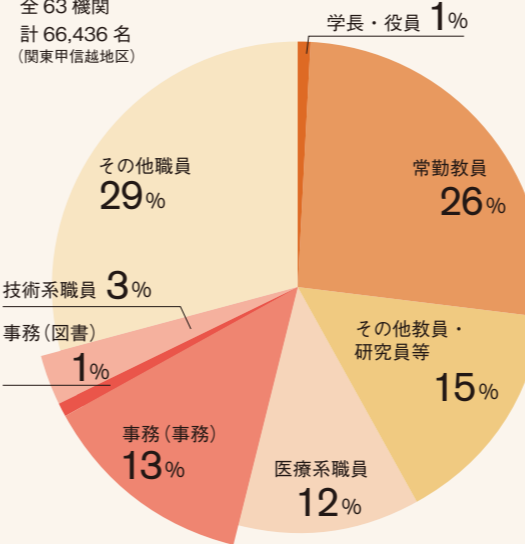


OUR MEMBERS

構成人数割合

職員のほか、教員、研究員等、多様な職種が協働し、組織としての幅広い貢献を実現しています。

全63機関
計66,436名
(関東甲信越地区)



MORE INFORMATION

ホームページ

関東甲信越地区採用試験事務室ホームページではたくさんの情報を掲載していますので、是非ご覧下さい。

【掲載内容（一部）】

- ・試験日程※1
- ・各機関採用予定数※2
- ・過去の試験実施結果
- ・しごと紹介（先輩職員80人分）

※1 平成28年3月1日掲載予定

※2 採用試験は第一次試験を全国7地区ごとに行います（裏表紙参照）。

国大法人等 関東甲信越 🔍 検索



<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>

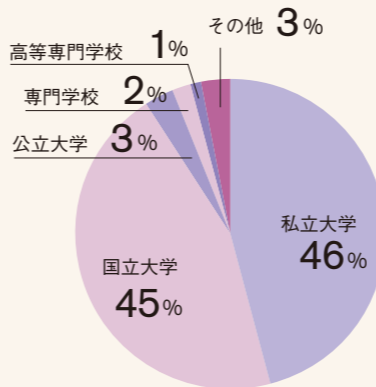


QUESTIONNAIRE

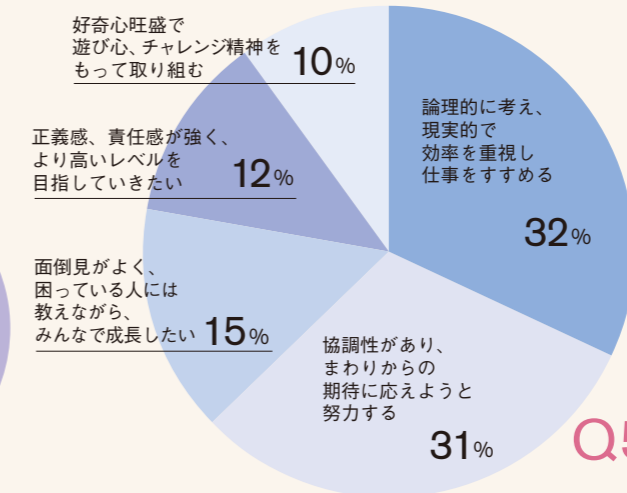
若手職員へのアンケート

採用2～4年目の職員にアンケートを行いました。HPにて、ほかの結果も公開しています。

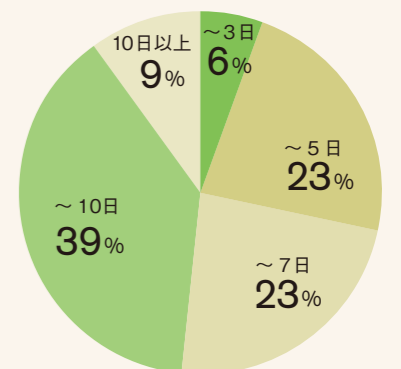
Q1 出身学校は？



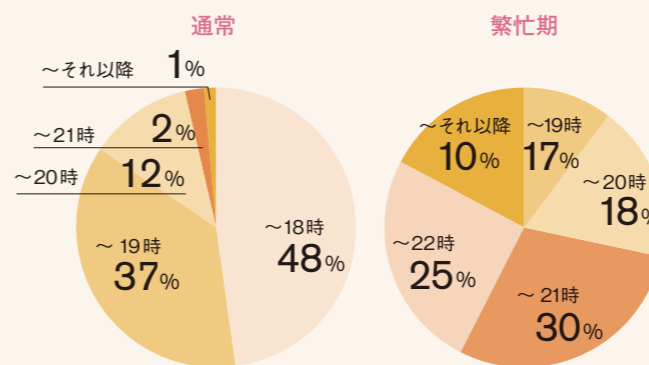
Q2 仕事をする上でのあなたのタイプは？



Q3 最長で何連休とった？(土日祝含む)



Q4 退勤時間は？



Q5 仕事のやりがいを感じる時は？

